



### 歴史とはエリートの見方、考え方 民俗とは一般の人の暮らし

2月22日からの日曜日、4回にわたって、「蒲原の民俗」と題した町民大学民俗講座が行われました。初回の講義は、講師の県民俗学会会長の駒形さんが、「歴史学には問題があります。それは、一部の特別な人(約2割)が書き残した物の見方、考え方を中心としているもので、一般の人の暮らしは出ていない。それを探るのが民俗学です」と民俗学の必要性を話された後、年中行事とくらしについて、習慣的な営みが繰り返される伝承的行事は月の満ち欠けのサイクルで行われてきたこと、暦の制度が月を中心としてきたものから太陽に変わっていく中で、行事が混乱してきたことなどを事例をあげて、分かりやすく説明されていました。4回の講座とも身近な話題を取り上げての説明に、参加者に好評で講義後は質問が相次いで出ていました。

2月23日(月)、立仏小学校スポーツ少年団のドッチボールチーム「タチボトケ軍団」が、3月1日に富山県黒部市で行われる第7回クロネコカップ春の全国小学生ドッチボール選手権北信越大会に出場するのに先立ち、町長を表敬訪問しました。5、6年生で構成する選手19人を代表して、6年生の金子くんが、「1勝でも多く勝ってきたいと思います」と決意を述べ、町長は、「悔いの残らないよう頑張ってきてください」と激励しました。

なお、大会結果はスポーツ・大会のコーナーに掲載しました。

### タチボトケ軍団、がんばれ!



**父** 子供自身も、その子供に對する期待が、10歳過ぎたあたりから大きくなっている。10歳過ぎたあたりから、子供自身も、その子供に對する期待が、10歳過ぎたあたりから大きくなっている。

**母** 子供自身も、その子供に對する期待が、10歳過ぎたあたりから大きくなっている。10歳過ぎたあたりから、子供自身も、その子供に對する期待が、10歳過ぎたあたりから大きくなっている。

**父** 子供自身も、その子供に對する期待が、10歳過ぎたあたりから大きくなっている。10歳過ぎたあたりから、子供自身も、その子供に對する期待が、10歳過ぎたあたりから大きくなっている。

**母** 子供自身も、その子供に對する期待が、10歳過ぎたあたりから大きくなっている。10歳過ぎたあたりから、子供自身も、その子供に對する期待が、10歳過ぎたあたりから大きくなっている。

**父** 子供自身も、その子供に對する期待が、10歳過ぎたあたりから大きくなっている。10歳過ぎたあたりから、子供自身も、その子供に對する期待が、10歳過ぎたあたりから大きくなっている。

**父** やりたくない職業について、子供自身も、その子供に對する期待が、10歳過ぎたあたりから大きくなっている。10歳過ぎたあたりから、子供自身も、その子供に對する期待が、10歳過ぎたあたりから大きくなっている。

**母** やりたくない職業について、子供自身も、その子供に對する期待が、10歳過ぎたあたりから大きくなっている。10歳過ぎたあたりから、子供自身も、その子供に對する期待が、10歳過ぎたあたりから大きくなっている。

**父** やりたくない職業について、子供自身も、その子供に對する期待が、10歳過ぎたあたりから大きくなっている。10歳過ぎたあたりから、子供自身も、その子供に對する期待が、10歳過ぎたあたりから大きくなっている。

**母** やりたくない職業について、子供自身も、その子供に對する期待が、10歳過ぎたあたりから大きくなっている。10歳過ぎたあたりから、子供自身も、その子供に對する期待が、10歳過ぎたあたりから大きくなっている。

**父** やりたくない職業について、子供自身も、その子供に對する期待が、10歳過ぎたあたりから大きくなっている。10歳過ぎたあたりから、子供自身も、その子供に對する期待が、10歳過ぎたあたりから大きくなっている。



父：高橋 裕雄さん

### 第13回 黒埼町 青少年健全育成大会



村井和弥くん

正塚晴くん

### 子育てについて熱心な対談

2月21日(土)、今年で13回目を迎える青少年健全育成大会が保健センターで行われました。当日は、黒埼交番所長の星野さんから、最近の青少年非行は中学生が増えているなどの実態報告や、健康と思いやりのある青少年に贈られる若葉賞の表彰が行われました。今年も、熱心な練習で卓球の全国大会に3年連続出場した木場小6年の村井和弥くんと、国道8号地下道の清掃奉仕で町の美化に努めている二之町子供会10人を代表して山際唱くんに贈られました。次いで、明るい家庭づくり作文の優秀作品の朗読、黒埼中学生による合唱と吹奏楽の演奏発表が行われました。また、記念対談として、太平洋を単独横断に成功した白根市の高橋素晴くんのご両親との一問一答形式の対談(下記に要旨を掲載しました)も行われ、来場した父兄から子育てについての熱心な質問がありました。

2月20日(金)、自動点滅器付街路灯1基が、緒立の町常民文化史料館に設置されました。これは、東北電力新潟営業所と韓エアテック新潟営業所が行っている「明るい街づくり」の一環として、あかりによる「快適さ」、「やすらぎ」、「うるおい」のある街づくりを推進するため取り付けられたものです。街路灯は4市町(新潟市、白根市、亀田町、黒埼町)に毎年寄付されており、今年も町の希望で旧武田家の屋敷である同史料館に設置が決まりました。街灯として設置されているものですが、水銀灯を使用しているため大変明るく、同史料館がまるでライトアップされているようです。

### 史料館をライトアップ



まちの二コース  
町の様々な出来事をお伝えします

記念対談  
太平洋を単独横断したヨット少年  
白根市の中学3年生、高橋素晴君がヨットで単独太平洋横断に成功したのは、2年前の平成8年9月14日のことでした。幾多のトラブルや次々と襲う自然の猛威を乗り越えて、出発から55日を経て見事太平洋横断に成功したことは記憶に新しい会います。  
去る2月21日(土)、青少年健全育成大会の記念行事の一つとして、素晴君のご両親をお招きし、太平洋を単独横断のお話や、子供たちを取りまく環境が悪化している今、非常に関心の高い子育てについての考え方、家庭環境、養育など一問一答形式で伺いました。

お詫び 連載中の「電鉄の今昔」は、今回休ませていただきます。

**父** 本人は義務教育の区切りとして挑戦したいと思っただけ、この航海を決意しなかつたらヨットの大きな高校を卒業してしまふ。私たちが学ぼうと思えばいろいろなる形で求めるものは学べると思ひました。



母：高橋 千晴さん

**母** 本人は義務教育の区切りとして挑戦したいと思っただけ、この航海を決意しなかつたらヨットの大きな高校を卒業してしまふ。私たちが学ぼうと思えばいろいろなる形で求めるものは学べると思ひました。

**父** 無縁が通じなくなることもあると話してはいましたが、やはりお話しはしました。無縁というのは陸の人の安心、自己満足的手段と本人も言っていました。

**母** 無縁が通じなくなることもあると話してはいましたが、やはりお話しはしました。無縁というのは陸の人の安心、自己満足的手段と本人も言っていました。

**父** 無縁が通じなくなることもあると話してはいましたが、やはりお話しはしました。無縁というのは陸の人の安心、自己満足的手段と本人も言っていました。

**母** 無縁が通じなくなることもあると話してはいましたが、やはりお話しはしました。無縁というのは陸の人の安心、自己満足的手段と本人も言っていました。